

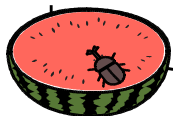
秋田明德館高等学校 ~ 自主自律 心豊かに朗らかに ~



進路だより

平成29年7月20日

Vol. 3



いよいよ夏休み、進路に向けての計画は？

前期中間の成績を振り返って、希望する進路に向け、自分がこれから何をしていかなければならないか、計画を立て直してみましょう。

進学希望者へ！～この夏休みをどう過ごす？

～規則正しい生活の確立が第一～

一日三食きちんと食べる

早寝早起きをする

決まった時間に机に向かう



まず、この三つが大原則です。卒業予定者だけでなく、来年度以降卒業者も同様です。学習習慣を定着し、進路意識を高めましょう。一般受験であれ、指定校や公募推薦、AO入試等のような入試方法でも、進学する限り常に学力を高める努力が必要です。

学習時間を確保する

進学校の人たちは、普段の授業に加え長時間の補習をこなしています。そのことを忘れずに、日々の学習計画を立てましょう。

3・4年次生は志望校の決定に悩む時期ですが、黙って悩んでいても何も解決しません。学習を継続しながら、進学して自分が何を学びたいと考えているのかを見極めることが大切です。

2年次生、今からならまだ間に合います！進路希望を早く定めた人から先に進路実現のための対策が具体的に実行できるようになります。中だるみをしている人は必ず後悔します。すべては自業自得。学習方法を確立し、毎日必ず机に向かう時間を作ること。

1年次生は、そろそろ中学生気分から完全に抜け出して、高校生としての学習のあり方を考え、進路の目標を定めて進学や就職のことを視野に入れた学習を始めましょう。

<夏休み中にオープンキャンパスに行こう！>

実際にキャンパスに行ってみると、パンフレットで見たイメージとは全然違ったりします。

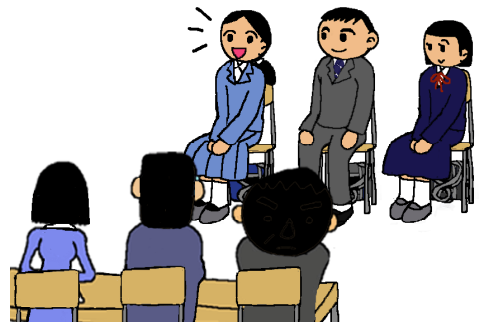
また、模擬授業や学食体験などから在学生のナマの声を聞くことができ、入学後の自分の学生生活を具体的に思い描くことができるようになります。1・2年次生も早めに行っておくのがオススメ！



就職希望者へ！～準備は大丈夫？

・その1～身だしなみ、態度、言葉遣いを改める

これらは面接試験の時だけきちんとやろうとしても、できるものではありません。きちんとした言葉で、はきはきと、目上の人への言葉遣いもできるように日常から心がけましょう。普段からきちんとしている人は、本番の何気ない仕草に誠実さがにじみ出るものです。



・その2～志望企業の製品や店舗は必ず確認しておく

「我が社のせんべいを食べた感想を述べてください」と言われ、「食べたことはありません」と答えて不採用になった人がいます。それが直接の原因ではないかもしれませんが、志望する会社や業種が決まったら、メーカーの場合はその製品を、小売りや金融、サービス業の場合はお店を、一人の客として実際に利用してみてその印象をまとめておきましょう。

・その3～履歴書は志望理由を大切に

履歴書は、企業の方があなたを初めて知る書類です。楷書で丁寧に正確に書くのは当然ですが、志望理由は何度も推敲すいこうしましょう。ありきたりの一般論ではなく、先生の指導を受けながら、ぜひ入社して力を尽くしたいという意欲や熱意が伝わるよう具体的に書くことです。



・その4～新聞・ニュースには必ず目を通す

面接や一般常識試験に向け刻々と変化する社会や経済の動き、業界の最新事情などを知っておくことも大切です。その中から問題点や解決すべき点を見出し、自分の意見をまとめておくことも必要です。



・その5～作文は実際に書いて練習する

就職作文のテーマは、「自分自身に関すること(性格や趣味)」、「高校生活の思い出(部活動や行事)」、「入社後の抱負」の大きく三つに絞られます。事前に一度ずつ書いてみて考えをまとめておきましょう。誤字・脱字に注意し、具体的なエピソードを交えて生き生きと書くことが大切です。そこではもちろん漢字力もチェックされます。

自分自身のことをよく知り、社会の動きに目を向け、自分を磨くことが、内定獲得のための第一歩です。

